

畑を耕し、井戸水で手を洗い、お蔵で昼寝する夏の日【本郷地区・物件番号R-47】



大江町の中心地・左沢地区から車で約5分の農家住宅です。



間取りは2階建ての6DK。そのほか駐車場4台（車庫含む）と大きな2階建ての物置、さらに土蔵付き！

まずは母屋をご紹介します。



玄関の両サイドに備え付けの靴箱があります。



お盆やお正月の時期になると、親戚や地区の人がたくさん集まっていたという茶の間。  
お酒やお料理を楽しむ人々の笑い声でにぎわっていたのでしょう。



茶の間の奥の客室(写真左)と床の間(写真右)。障子を開ければ14畳もの広さに。



最上川舟運の町として栄えた大江の町をイメージさせる雪見障子に心惹かれます。

お次は2階のお部屋へ。



2部屋に押し入れ2つ、備え付けの収納2つ、さらに立派な箆筒も2つ。(残留物は使用することもできます)。  
お洋服をたくさん持っている方やコレクターの方も安心ですね。



2部屋の間にも箆筒が。



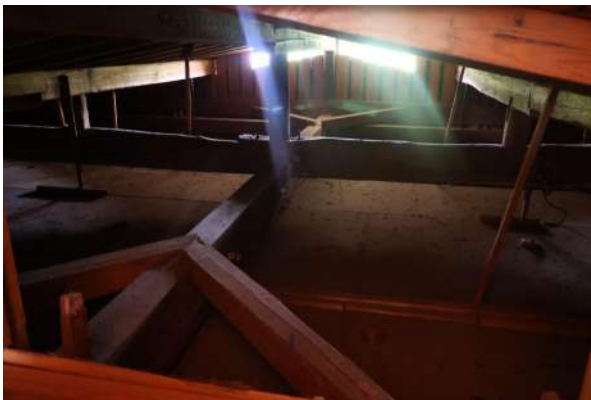
折り鶴のパターンが可愛い建具。大切なものをしまっておきたいですね。



冬場はこちらの窓から屋根に出て、雪かきできる。



そして2階にはひみつの入り口も...！



「ひみつの入り口」は屋根裏部屋につながっています。  
子どもの頃に戻って、友だちとかくれんぼをしたくなりそう。  
「ひみつの入り口」の隣にも収納がありますよ。



階段の上を見ると、木材の天井とレトロな雰囲気照明が。  
古いおうちならではの佇まいにときめきがとまりません。



1階の6畳のお部屋は、書斎や仕事部屋にも良さそう。  
松の木の木彫りがあしらわれた照明も、お部屋の雰囲気になじんでいます。



昔ながらのお風呂場。浴槽は小さめなので、足を思いきり伸ばして浸かりたい方はリフォームをおすすめします。



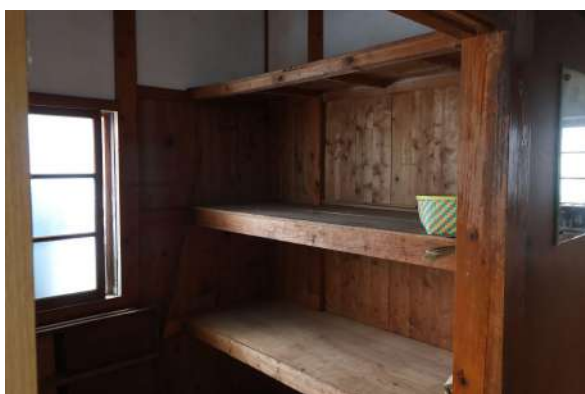
お風呂場の横には洗面台。



明るい光がたっぷり入るキッチンに立てば、日々の料理の時間もより楽しくなりそう。



収納もたっぷりあり、調理器具やうつわをたくさん持っている方でも安心です。



キッチンの横にあるボイラー室は、以前かまどとして使ったり、風呂用の薪を燃やしていた場所。ボイラー室の向かい側の棚には、お味噌など保存食を保管していたそうです。



ボイラー室の先にあるお手洗い。汲み取り式のため、改修が必要となります。



母屋を出て、2階建ての小屋へ。

小屋は持ち主さんのお母さまが作業場として使っていた場所です。



お次はお蔵(土蔵)へ。

持ち主さんのご両親は稲作をしており、当時は土蔵いっぱい米袋が並んでいたそう。

積まれた大量の米袋の上を走り回って遊んだり、夏は涼しい土蔵でお昼寝をして過ごしていたようです。



お蔵と母屋の間には家庭菜園として使える畑も(面積:約155㎡)。

最後はお庭に。



こちらのおうちでは、その昔馬を飼われていたそうで(都会では考えられない...!）、馬をまつる石碑があったり



鯉を飼っていた池(写真左)と、金魚を飼っていた池(写真右)も。





池のそばには山菜も生えるほか、井戸水も使用できます。

広々とした敷地内で好きな野菜を育て、井戸水で手を洗い、すこし土蔵で昼寝するか。  
そんな暮らしが叶うおうちで暮らしてみませんか。

残してある家財道具：冷蔵庫、洗濯機、箆笥4点